

平成25年度 事業計画書

ケアハウス大慈

1. 《平成25年度法人ヴィジョン》

- ①経営の強化
- ②サービスの質の向上
- ③教育システムの充実

2. 《ケア理念》

「手から手へ 忠恕（真心）を込めて」

3. 《基本方針》

法人の設立精神である「和顔愛語・上敬下愛」に基づき、ゲストの人権を尊重し、ご自分らしく心豊かに生活を送っていただけることを目指し努力する。いつでも笑顔を絶やさず、思いやり・真心をこめて接することでゲストとの心のつながりを大切にする。ゲストが安全で健康的な暮らしができるようサポートする。

4. 《最終目標》

～いきいきのびのびスマイリー運動～

●みんなが生き生き・みんなが伸び伸び・みんなが笑顔。

(みんなとは、ゲスト・ご家族・職員を指します。)

- ・生きがい・やりがいを大切にします。
- ・自分らしさを大切にします。
- ・笑顔溢れる温かい雰囲気大切にします。
- ・みんながしあわせになることを目指します。

5. 《中期計画》

- ①ケアハウス大慈の理念や方向性を周知する。
- ②ケアハウス大慈「らしさ」を共有し、みんなで作り上げていくという風土を作る。
- ③スタッフが福祉職ということやケアハウス大慈に勤めていることに誇りを持てる様にする。

6. 《部門別重点目標》

<ケア部門>

【大慈らしさの追及】

①みんなが楽しく・働きやすい雰囲気を作る。

(離職率の低下 平成24年は約20%→平成25年約15%以下)

A) 個々のコミュニケーション能力向上を図る。

- ・内外の研修を活用する。

B) スタッフ交流の促進

- ・親睦の場所を作る。(年2回→年3回) フロアでの交流会 (年2回)
- ・クラブ活動設立、継続 (バレーボールなど) (月1回開催)

C) スタッフの不安軽減 (問題定義、解決策の策定)

- ・定期的にフロア会議を開催 (月1回)

- ・各委員会を定期的開催し困難事例においてはフロアを超えて検討する。

D) その他

- ・モチベーションをアップするためにリフレッシュ休暇を取る。(月連続4日から5日)

②個別ケアの実施の土台作り

A) 基本的ケアの徹底、実施(整容チェックシートを作成し実施率80%を目指す)

- ・生活空間の環境を整備します。(過ごしやすく、安全・清潔な空間を作る)
- ・業務の改善(基本的ケアを行う時間を作る)

B) OFF-JTの実施

- ・理念の浸透・感染・虐待・コミュニケーション・専門技術、介護技術の向上・認知症ケアなど。

<環境整備>

畑の横にある敷地の工事を行い、ゲストが散歩やお茶、バーベキューなど楽しめるスペースを作り活用する。

<経営部門>

①在園率95%以上、在籍率97%を維持する。

A) ゲストの体調管理を行い、在園率95%を維持する。

B) 入院時は、スムーズに退院となるよう病院と連携し情報の交換を行う。

②待機者の確保に努める。(25名)

A) 見学者の増加

- ・常時見学の受け入れ体制を作っておく。
- ・毎月、事業所や病院などに空き状況を定期的にお知らせする。
- ・ホームページにて宣伝していく。

B) 見学者から待機者へ

- ・相談簿に記入することを徹底
- ・見学者、相談者に対し定期的にお困りでないか連絡を入れる。
- ・アピールポイントを探し、宣伝方法の検討をしていく。
- ・ケアハウスたよりを発行する。

<栄養科>

【自分だったらと考えられる厨房になる】

①安全でおいしく、笑顔になれる食事の提供

- ・食材をきざむ事なく、常食・ソフト食・スルー食・ミキサー食(ゼリー食)すべての方が、何を食べているのかわかり、食べたいと思える食事の提供を継続する。
- ・細かいゲストの要望に答える事が出来るようになる。
- ・副菜のニーズに応えられるよう、一人一人の好みを把握する。
- ・厨房の業務を見直し時間を作ることで、副菜のニーズに応える。

②食事や食事行事について、チェリッシュ委員会や担当者会議にて、スタッフ同士の意見交換がスムーズに行えることで美味しい食事の提供を行う。

- ・ゲストの満足度を調査し(年2回)、おいしい又は満足と答えて下さる方を全体の75%以上を目標とする。

<看護部>

【精神・身体・生活を統合的に観察し、その人らしい生活を介護スタッフと共に作る】

①業務の効率化

- ・記録の記載の充実や見直しを行う。
- ・電子カルテへのスムーズな移行を図る。

②コミュニケーション能力の向上

- ・コミュニケーションの時間を作り、ゲストが望んでいる看護を見つける。
- ・健康に対する不安を見つけ、精神科受診だけでなく、言葉の治療を行う。
- ・ご家族との情報交換を密に行うことで信頼関係を築く。

③介護スタッフとの意見交換

- ・現場に足を運びそれぞれの思いを大切に出来るような意見交換をする。
- ・誤薬等、医療面として関わりのある事故においては積極的に意見交換を図る。

[年間業務]

月	項目	内容
5月	ゲスト定期検診	胸部X線・採血
6月・7月	スタッフ定期検診（全職員）	胸部X線・採血・検尿・検便・心電図、腰椎X線（CWのみ）
11月・12月	ゲスト・全スタッフ	インフルエンザ予防接種
1月	職員定期検診（CWのみ）	採血・腰椎X線・検尿

[往診・受診]

曜日	午前 午後	医師名	診療科目	頻度
月	午前・午後	坪内淳一	内科	毎週
火	午前・午後	坪内淳一	内科	毎週
	午後	松尾信二	精神科	毎週
水	午前	真継 猛	整形外科	毎週
	午後	松浦 肇	皮膚科	月2回
			檜林義雄	歯科
木	午前	坪内淳一	内科	毎週
	午後	坪内淳一	内科	毎週
金	午前	坪内淳一	内科	毎週
	午後	坪内淳一	内科	毎週
		森 啓行	糖尿内科	毎週
土	午前	坪内淳一	内科	毎週
	午後	松尾信二	精神科	毎週

※眼科・耳鼻科等は、外部へ随時受診。

<機能回復訓練>

ケアハウス大慈における機能訓練士の理念に則して、ゲストの全人的苦痛を可能な限り取り除き、QOLを高める為一人ひとりが求めている生活への思いを実現できるようサポートしていく。また、他スタッフと連携をより深め、情報の共有・事故防止などをチームでのケアを進めていく。

①ケアの質向上に資する取り組み

- ・移乗サポートなどゲストに「安心」を提供できるケア技術の指導を行うため、練習会を企画、開催する。また、フロア会議でも伝えていく。

- ・ゲストのADLの低下を防ぐアドバイスを行う。
 - ・生活環境面での助言を行い、協力し合う。
- ②事故防止の提案・助言を行う
- ・事故報告書やドキドキから見える予測を立て、現場に指導、事故件数を20%削減する

7. 《ケアハウス大慈の特徴》

○入浴

一般浴（大浴場・個浴）・特浴・中間浴をゲストの状態や好みによって、選択出来ます。入浴回数や時間についても、出来る限り希望に添えるようにする。（週2回以上）

○排泄

個々の状態にあわせた排泄サポートを検討し、出来るだけトイレを使用し自立支援を目指します。

○食事

ダイニングで食べて頂く事を基本とし、個々の状態に応じて治療食、ソフト食やスルー食等を提供します。ご自身のお箸やお茶碗、お湯呑みを使って頂くことやフロアのキッチンでご飯を炊くことで家庭に近い雰囲気を感じて頂ける様にしています。

温かいものは温かく、冷たいものは冷たく食べて頂くためにおかずの盛り付けもフロアのキッチンで行っている。陶器の食器を使用し、味だけではなく見た目も大切にしている。

○生きがい作り

お誕生日のお祝いには、プレゼントをしたり、職員と外出する機会を持つ等、個々の希望に合わせて行っています。

畑と一緒に収穫した野菜を、レストランやバイキングでの行事食で提供しています。

にぎり寿司パーティーや焼き肉パーティーを年に1回ずつ行っています。

気候の良い時期には、外出行事を企画する。

ミュージックセラピー・フラワーセラピー・メイクセラピー・園芸療法等を実施しています。

夏祭りにご家族も招待し、一緒に楽しんでいただいています。

○その他

レストランや美容室の設備が充実しています。

生きがいデイサービスの場として、地域の方にレストランを提供しています。

職員配置は、ゲスト2名に対して職員1名とし、ユニットケアを行っています。

8. 《職員会議》

頻度	会議名			
毎月1回	正副施設長会議	大慈な会議	F S会議	会計会議
随時	ケアカンファレンス	医務部会	事務部会	

9. 《衛生》

害虫駆除（年2回）・寝具交換（週1回）

10. 《苦情処理》

各部署に担当者を明記し、随時受け付け口頭・書面で上司に報告し敏速な対応を行う。

1 1. 《委員会活動》

	内 容
委員会名	チェリッシュ委員会
頻度・時間等	毎月第三水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	ケアハウス大慈の食事をより良いものにするを目的とし、料理教室やスナック等の行事を企画する。

	内 容
委員会名	行事委員会
頻度・時間等	偶数月第二水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	行事を企画、実行していく。大慈園行事委員会にも必要に応じて参加し、連携を図る。

	内 容
委員会名	CCP委員会（ケアハウスコミュニケーション推進委員会）
頻度・時間等	奇数月第三木曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	バリデーションの要素を取り入れ、ケアハウス大慈独自のコミュニケーション方法を検討、確立していく。

	内 容
委員会名	災害・設備委員会
頻度・時間等	偶数月第一又は第二水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	非常災害時に対する防災意識の向上や警戒発令時の迅速な対応等、総合的な推進を図り、被害を軽減する。また委員が、大慈園の非常災害時対策委員会にも参加し災害に対して連携が図れるようにする。 施設設備の保守に関する問題点や改善案を話し合い、実施する。 A) 避難訓練消火訓練の実施（月1回） B) 消火器、自動火災通報装置の使用方法等、防災教育の実施

	内 容
委員会名	感染症防止対策委員会
頻度・時間等	毎月第一月曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	感染症・食中毒の予防まん延防止に関する指針に基づき、マニュアルの作成や見直し・標準予防策・職員研修等を検討・実施する。

	内 容
委員会名	RM委員会
頻度・時間等	毎月最終水曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	事故報告書の検討・ドキドキ報告書の検討・マニュアル作成をしていく。

	内 容
委員会名	マナーアップ委員会
頻度・時間等	毎月最終木曜日 16時15分～17時45分
目的・内容	職員のマナー向上を目的としており、その為実践する方法を提案する。

	内 容
委員会名	エコ・節約委員会
頻度・時間等	不定期 16:15～17:45
目的・内容	節電・節水を実施し、エコロジーな施設を目指すと共に無駄を無くし、節約に取り組む。

	内 容
委員会名	入浴委員会
頻度・時間等	不定期 16:15～17:45
目的・内容	入浴のスケジュールや清掃、サポート等の入浴に関する全ての事を話し合い、より良い入浴を目指す。

	内 容
委員会名	排泄委員会
頻度・時間等	不定期
目的・内容	排泄について話し合いゲストが心地よく過ごせるための改善方法を提案・実施していく。

*人事委員会・事業戦略委員会については、大慈園と同じ

1 2. 《月間行事》

行事	頻度	行事	頻度
音楽療法	毎月2回	衣料販売	毎月1回
メイクセラピー	毎月1回	絵手紙	毎月1回
シルバー体操	毎週水曜日	フラワーセラピー	毎月1回
買い物ツアー	毎週木曜日	歌とお話の会	毎月1回

1 3. 《年間行事》

月	行事	月	行事
4月	お花見、ティータイム	10月	遠足、ティータイム、スナックちいちゃん
5月	外食ツアー、母の日	11月	外食ツアー
6月	外出行事、父の日、ティータイム、スナックちいちゃん	12月	クリスマス会、餅つき、ティータイム
7月	七夕、オープン記念	1月	新年会、鏡開き
8月	夏祭り、ティータイム	2月	節分、バレンタインデー、ティータイム、スナックちいちゃん
9月	敬老の日・焼き芋	3月	雛祭り・にぎり寿司

1 4. 《職員配置》

施設長	副施設長	生活相談員	介護支援 専門員	看護職員	看護職員 (パート)
1名	1名	1名	3名	3名	1名
管理栄養士	事務員	介護職員 (正職)	介護職員 (パート)	機能回復 訓練士	その他 (運転手)
2名	2名	34名	29名	1名	1名